

中標津町児童センター「みらいる」

■所在地 標津郡中標津町東八条南三丁目
■設置者 中標津町
■構造 木造平屋建
■延床面積 999.41m²

■木材使用量 240.00m³
うち地域材 201.41m³
■使用樹種 構造 カラマツ
内装 カラマツ



◆施設の概要

中標津児童センター「みらいる」は、児童の健全育成を目的とする児童館機能と、中高生の交流や活動拠点となる機能とともに、乳幼児やその親を対象とした子育て支援機能を併せ持つ、乳幼児から高校生までの利用を視野にいれた健全育成の総合施設です。

◆工法等の特徴

町内産のカラマツを使用した大断面集成材による木造平屋建の施設です。カラマツは町有林の間伐によって搬出され、町内の製材工場で、製材、ラミナ加工されたものです。大断面の集成材を使用することで、子供達がボール遊びや大縄跳びができる広い空間が実現できました。

内装も腰壁に町内産のカラマツをふんだんに使用したほか、集成材を壁や天井内に修めず、表に出す設計としており、町内産カラマツのPR効果が期待されます。

◆整備にあたり苦慮したところ

地域の中高生による「建設プロジェクトチーム」を結成し、コンセプトの設定や基本の構想・設計に関わっての話し合いを行い、子供達の要望や提案を取り入れた施設づくりにするよう配慮しました。また、無落雪の陸屋根を採用するなど、子供達の安全性にも考慮しています。

◆利用者の声

「カラマツの大断面集成材の柱は迫力があり、独特の色合いが美しい。」「木が、明るく、あたたかい印象を与える。」といった声が聞こえています。